

広島市植物公園

見どころ案内

フジバカマ (キク科)

中国原産の多年草。秋の七草の一つ。淡い赤紫色の花が咲き始めました。準絶滅危惧種。園芸店で販売されているものはほとんど雑種です。

センニンソウ

(キンポウゲ科)

日本各地に自生するつる性植物。白いガク片を4枚つけています。花弁ではありません。この名は果実の白い毛を仙人に見立てたものです。

ミシマサイコ

(セリ科)

日当たりの良い山野に自生する多年草。小さな黄色い花を咲かせています。絶滅危惧種。

シカクマメ (マメ科)

熱帯アジア原産の一年草。四角形の実がたくさんついています。炒め物やてんぷらにします。最近では緑のカーテンにも利用されています。

特別企画展 コーヒー & 紅茶展

9月13日(土)~

11月17日(月)

栽培の歴史、産地の紹介、そして実物展示、また抽出機器、製品など、コーヒーや紅茶に関するいろいろな展示をしています。

[展示資料館1階展示室にて]

カリガネソウ (シソ科)

日本各地に自生する多年草。薄紫色の花を咲かせています。虫が花に留まると、虫の背中に花粉をつけ、次の花へ受粉するおもしろい仕組みになっています。別名ホカケソウといひます。

ミヤマガマズミ (レンプクソウ科)

日本各地に分布する落葉低木。6月に白い小さな花をつけ、今、光沢のある赤い果実を多数つけています。

ツルニンジン (キキョウ科)

東アジアに生育するつる性植物。下向きに垂れ下がった茶褐色の花が楽しめます。別名ジイソブ。

ポポー (バンレイシ科)

北米産の落葉高木。寒さに強いので、屋外でも育ちます。今、緑色の果実を上部につけています。

オオモクゲンジ

(ムクロジ科)

中国原産の落葉高木。黄色く小さい花を咲かせています。展望塔に登って見ると身近にみることができます。

ガガブタ

(ミツガシワ科)

世界の温帯域にある湖沼などに広く生育する水草。水面上に細かく裂けた白い花弁をのぞかせています。

ノアサガオのカーテン

(ヒルガオ科)

品種はオーシャンブルー、ラッキーブルー。紫色の花が咲いています。ツルは屋上まで伸びつつ、大きなカーテンを作っています。

